

有害鳥獣捕獲わな監視通報クラウド

トラップリンク クラウド T-SF (Trap Link Cloud T-SF)

2019年 1月15日

株式会社スパークル

目次

1	LPWAとは	-----	2
2	SIGFOXネットワークとは	-----	3
3	スパークルIoTクラウド (Sparkle IoT Cloud) とは	-----	4
4	トラップリンク クラウド T-SF (Trap Link Cloud T-SF)	-----	6
4.1.	トラップリンク クラウド T-SF (Trap Link Cloud T-SF) とは	-----	6
4.2.	概要	-----	7
4.3.	用途	-----	8
4.4.	主な特長	-----	9
4.5.	価格	-----	11

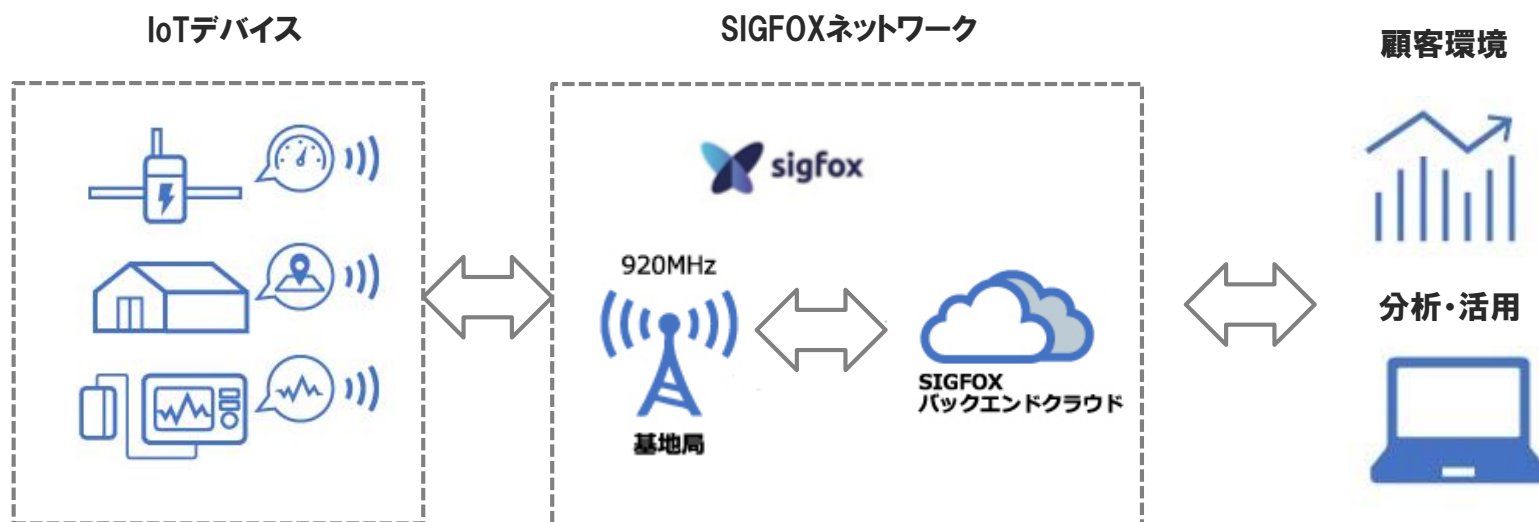
LPWAとは、低消費電力で広域エリアをカバーできるネットワークのことをいいます。IoT(モノのインターネット)の活用が広がる中、環境モニタリングやスマートメーターのように多数のIoTセンサーデバイスから情報を収集する用途では収容性が求められます。またデバイスや回線当たりの通信容量は小さくても大量同時接続のサポートを可能とし、通信用途・ニーズにおいては低コストであることやセンサー機器に組み込み長期間使えるような低消費電力などの要件に対応する必要があります。こうした要件に特化して新たなIoT無線通信技術として登場してきたのがLPWAネットワーク(Low Power Wide Area Network、LPWAN)です。

【LPWAの特徴】

- 低消費電力
- 広域通信エリア
- 安価な通信コスト
- 大量同時接続が可能
- 安価なハードウェア
- 高い可動性

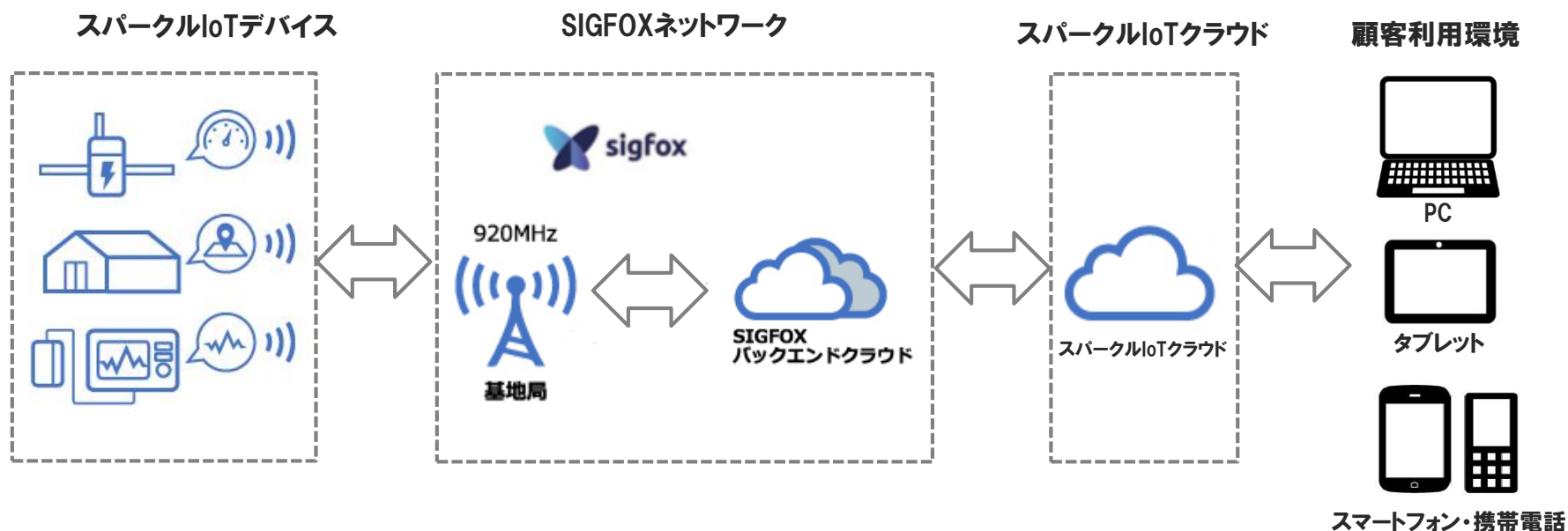
2.SIGFOXネットワークとは

SIGFOXネットワークとは、2009年にフランスで設立された通信事業者のSIGFOXが提供するLPWAネットワーク(Low Power Wide Area Network、LPWAN)であるグローバルIoTネットワークです。2016年12月時点で、29カ国に展開されており、2018年までには60カ国に展開される予定となっています。1国1事業者と契約をし、その事業者(SIGFOXオペレータ:SO)が国内のネットワーク構築運用を行うビジネスモデルを取っています。日本では、京セラコミュニケーションシステム(KCCS)が、2016年11月に国内におけるSIGFOXネットワークを展開しています。SIGFOXネットワークではSOからSIGFOXネットワークサービスとSIGFOXバックエンドクラウドサービスが提供されます。



3.スパークルIoTクラウド (Sparkle IoT Cloud) とは

スパークルIoTクラウド (Sparkle IoT Cloud) とは、日本国内では京セラコミュニケーションシステム株式会社(KCCS)が提供するIoT(Internet of Things/モノのインターネット)通信ネットワークLPWAネットワーク(Low Power Wide Area Network、LPWAN)技術であるSigfoxサービスを利用してインターネットにアクセスできる環境であれば携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからいつでもどこでもIoTデバイスの遠隔制御監視管理通報を提供するクラウドサービスです。
安価なランニングコストで遠隔監視管理が可能で人手不足や働き方改革、業務改善、またセキュリティ対策など安全安心のIoTソリューションツールとして課題解決にお役立てください。



スパークルIoTクラウド (Sparkle IoT Cloud) シリーズ

【販売中】

- リモートスーパーバイザー (Remote Supervisor)
設備・装置・機器の遠隔制御監視管理クラウド
- トラップリンク クラウド T-SF (Trap Link Cloud T-SF)
有害鳥獣捕獲わな監視通報クラウド

【販売予定】

- リモートスーパーバイザー (Remote Supervisor)
設備・装置・機器の遠隔制御監視管理クラウドサービス(アナログデータ版)
- 子供や高齢者の見守りクラウド
- 物流(荷物、コンテナ、パレット)やモビリティ、移動体のトラッキング、位置管理クラウド
- 栽培環境モニタースマートアグリクラウド

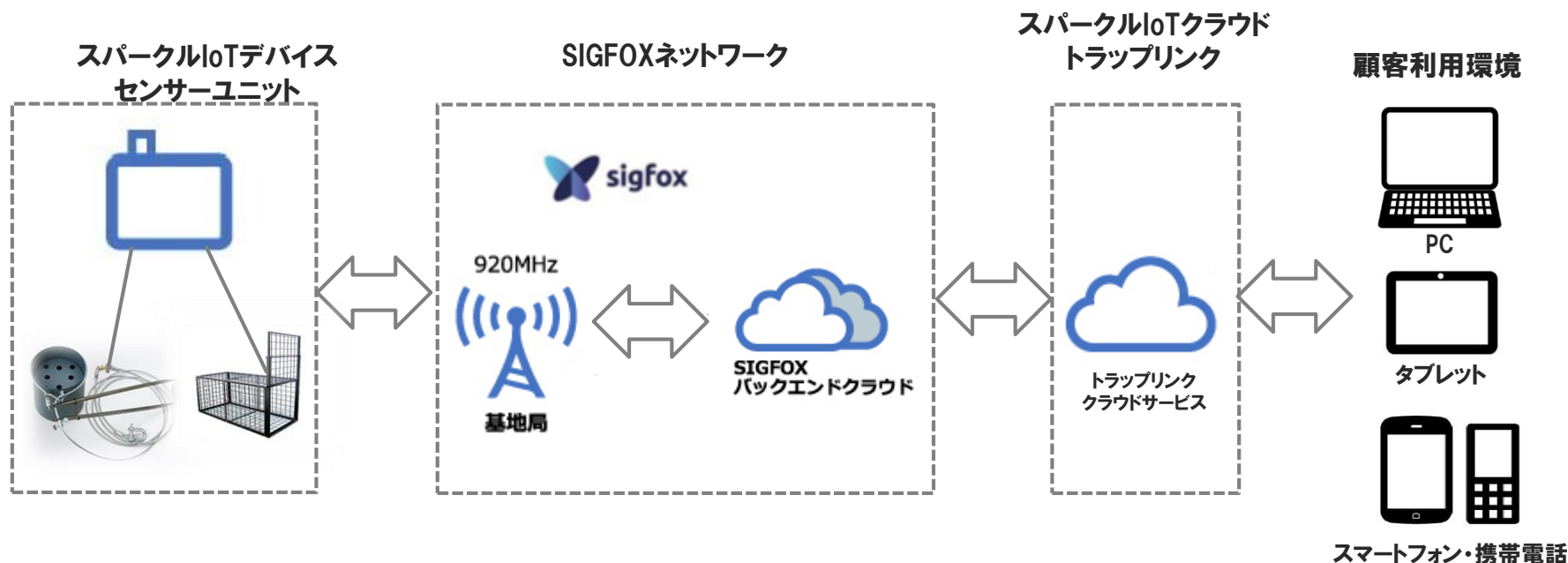
4.トラップリンク クラウド T-SF (Trap Link Cloud T-SF)

4.1.トラップリンク クラウド T-SF(Trap Link Cloud T-SF)とは

有害鳥獣捕獲わな監視通報クラウドシステム『トラップリンク クラウド T-SF (Trap Link Cloud T-SF)』は、有害鳥獣捕獲わなの捕獲監視情報をインターネットにアクセスできる環境であれば、いつでもどこでもモニターすることができ、捕獲検知した場合に携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどにショートメッセージ(SMS)や電子メール、プッシュ通知で通報するクラウドシステムです。

IoT(Internet of Things/モノのインターネット)通信ネットワークLPWA(Low Power, Wide Area)技術であるSigfoxサービスの電波が届くサービスエリア内であればどこでも簡単に設置できます。

外部電源が不要で内臓バッテリーで電池寿命は、標準的なご利用環境で約5年間のご使用が可能です。



4.トラップリンク クラウド T-SF (Trap Link Cloud T-SF)

4.2.概要

通信料金とクラウドサービス利用料の全てを含めて年間ランニングコスト7,500円（税別）で運用できます。

わなの捕獲検知を素早く携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどに通知するのでわなの捕獲確認の見回り作業の軽減します。

捕獲情報管理はインターネットにアクセスできる環境であれば、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからいつでもどこでもモニターすることができ複数の人で情報や管理を共有することが可能です。

- わなの捕獲検知を素早く携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどに通知
- クラウドサービスなのでインターネットにアクセスできる環境があれば捕獲情報がいつでもどこでもモニター可能
- 安全、安心、便利な有害鳥獣捕獲わな監視通報クラウドシステム
- 通信料金とクラウドサービス利用料込みで年間7,500円のコストで運用可能
- ユニット1台につき2系統のわなに対応可能
- ユニットの稼働状態、バッテリー状態も定時監視結果モニター及び警報通知可能
- IoT通信インフラは、日本国内では京セラコミュニケーションシステム株式会社(KCCS)が提供するIoT(Internet of Things/モノのインターネット)通信ネットワークLPWA(Low Power, Wide Area)技術であるSigfoxサービスで高い品質と信頼のIoT通信環境
- 外部電源は不要、充電も必要無し、内臓バッテリーで標準的なご利用環境で約5年間使用でき長期間の運用が可能

4.3.用途

■有害鳥獣捕獲わなの捕獲監視

- ・箱わな
- ・くくりわな
- ・囲いわな

■有害鳥獣の侵入監視

- ・害獣侵入警報

■有害鳥獣の個体数の管理・監視・調査

- ・害獣個体数監視・調査
(赤外線センサーなどで検知回数のカウントが可能)

4.トラップリンク クラウド T-SF (Trap Link Cloud T-SF)

4.4.主な特長

■捕獲検知すると素早く自動通報

捕獲わなの捕獲監視をおこない捕獲検知すると自動的に連絡先に通報します。
またインターネットの管理サイトにアクセスすればすぐに捕獲情報がモニターできます。

■インターネットにアクセスできる環境であれば携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどからいつでもどこでも遠隔監視

クラウドシステムなのでインターネットにアクセスできる環境であればいつでもどこでも携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどから捕獲わなの状態が確認できます。
また操作も簡単、便利で安心です。

■携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどにショートメッセージ (SMS) や電子メール、プッシュ通知で通報

捕獲通知は携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどにショートメッセージ (SMS) や電子メール、プッシュ通知で警報メッセージが送信されます。
操作も簡単、便利で安心です。

■設置も簡単

捕獲監視通報ユニットは、小型軽量で捕獲検知スイッチケーブルを接続するだけで簡単に設置ができます。

4.トラップリンク クラウド T-SF (Trap Link Cloud T-SF)

■現場に強い、防塵・防水性能と堅牢性

捕獲監視通報ユニットや捕獲検知スイッチケーブルは防塵・防水仕様で雨水などから機器を守り高い耐環境性を確保します。

■長期間の利用が可能、外部電源不要、バッテリー切れの心配を軽減

内臓バッテリー使用で標準的なご利用環境で約5年間連続でご利用できます。

外部電源を用意する必要無く、長期間の運用が可能でバッテリー切れの心配が軽減します。

■捕獲検知スイッチは2系統接続可能

捕獲検知スイッチは2系統の接続が可能で1ユニットで2個のわなの捕獲監視ができます。

■捕獲検知スイッチは厳しい使用環境でも安定して検知

捕獲検知スイッチは厳しい使用環境でも安定して捕獲検知できます。

■赤外線センサーなどを利用して検知回数も把握可能

捕獲検知スイッチは厳しい使用環境でも安定赤外線センサーなどを利用することにより捕獲検知スイッチで検知回数がカウント可能で個体数の調査ができます。

■捕獲通知の連絡先は簡単に登録可能

捕獲通知の連絡先は携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコンなどから簡単に登録できます。(標準契約で最大5件の連絡先が登録可能、別契約で追加可能)

4.トラップリンク クラウド T-SF (Trap Link Cloud T-SF)

4.5.価格

【センサーユニット販売価格】

30,000円

※捕獲検知スイッチケーブルは含まれていません。

- 捕獲検知スイッチケーブルは、必要数の購入が必要です。

捕獲検知スイッチケーブル 6,000円

【クラウドサービス利用料金(通信料も含む)】

7,500円(年払い)

※クラウドサービス利用料金には、通信料金も含まれています。

- 年間契約でご利用いただけます。
- お支払は前金払いで年払いとなります。
- 契約期間内は、ソフトウェアのアップデートなどは自動更新で追加料金を支払う必要はありません。
- サービス利用年途中での解約はできません。
- 通報ショートメッセージ(SMS)は、1回につき12円で月締めの従量課金となり月払いとなります。
- 利用料のお支払いにかかわる手数料はお客様のご負担となります。
- 携帯電話、スマートフォンでのショートメッセージ(SMS)利用料はお客様のご負担となります。
- プッシュ通知は、スマートデバイスアプリでサービスイン予定です。

4.トラップリンク クラウド T-SF (Trap Link Cloud T-SF)

【使用の際の注意事項及び使用条件】

- 送信回数制限は、140 回 / 24時間となります。
- 定送信間隔モードの場合は、最短送信間隔時間は15分間隔になります。
送信間隔時間は、15分(想定電池寿命は約0.8年)、1時間(想定電池寿命は約3年)、6時間(想定電池寿命は約7年)、12時間(想定電池寿命は約10年)の設定が可能です。
- Sigfoxサービスの電波が届くサービスエリア内でご利用可能です。電波状況により送受信通信処理に影響を受けることがありますのであらかじめご了承ください。
詳しくは、「京セラコミュニケーションシステム Sigfoxサービスエリア」サイトをご参照ください。
- お客様の保管データは契約期間中(1年契約期間)は保存されますが、契約終了後は保管データは消去されます。管理サイト内で各保管データのCSVファイルでのダウンロードができますのでお客様による保管データの定期的なバックアップをお願いいたします。

※表示金額はすべて税抜です。

※製品仕様、サービス内容、料金等は変更することがあります。

ご不明な点がございましたらお問い合わせください。

『トラップリンク (Trap Link) 』は、株式会社スパークルの商標登録です。